

## 学外研修報告

共通機器部門放射線管理技術班 寺元浩昭

令和元年度放射線安全取扱部会年次大会（第 60 回放射線管理研修会）参加報告

### 1.目的

この大会（研修会）では放射線の規制や管理、放射線利用に関する最新の話題に関する講演等が行われる。一昨年度から昨年度にかけて改正され、今年度施行された放射線規制に関する法令について、これから様々な対応を行っていく必要があり、情報収集、意見交換等を行うため参加した。

### 2.期間・場所

期間：令和元年 10 月 24 日（木）～10 月 25 日（金）

場所：倉敷市芸文館（岡山県倉敷市）

### 3.参加者等

全国の放射線施設管理者、放射線取扱主任者等 200 名程度

### 4.研修内容

- ・特別講演「放射線障害防止法関係の最近の動向」土井亮介氏（原子力規制庁）  
「地球惑星物質総合解析システム（CASTEM）の構築と応用：小惑星イトカワ・チェリャビンスク隕石・はやぶさ 2」中村栄三氏（岡山大学）  
「原子科学の父仁科芳雄と郷里岡山」小野俊朗氏（岡山大学）
- ・シンポジウム「放射線事故の初動対応を考える」  
「人形峠ウラン開発の歴史と現状」  
「RI 規制法への対応事例」
- ・ポスター発表 24 題

### 5.まとめと感想

今年度の大会では、今年度施行された改正 RI 規制法に関して、原子力規制庁の土井氏より改正に伴う今後の立入検査の進め方や、昨年度の立入検査の指摘事項、最近の事故事例等について講演があった。

また、シンポジウム I では放射線施設の火災や汚染（被ばく）事故の実例をもとに初動対応の問題点、反省点の紹介があり、大変参考になった。

シンポジウム III では RI 規制法への改正について、予防規程の変更についての事例、教育訓練の時間数の変更に対する見直し事例、防護規程の新規作成についての論点整理及びその対応例についての紹介があり、こちらも大変参考になった。各施設、主任者による微妙な考え方の差も興味深かった。

このほかに二件の特別講演、一件のシンポジウム、ポスター発表、機器展示も行われた。